

# FTE01 BASICドームテント

## 取扱説明書



**⚠ 本製品をご使用になる前に  
必ずお読み下さい。**

- ⚠ 本製品をご使用になる前に、部品の欠落がないことをご確認下さい。
- ⚠ ご使用になる前に、事前に設営の練習を行って下さい。

# 本製品使用上のご注意及び禁止事項

- ⚠ 危険** (人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容です)
- 台風など強い風や暴風雨や雷雨、低気圧が接近する時は設置しないでください。テントが飛ばされたり、テントの破損や事故、ケガに繋がる場合があります。また雪、砂地など特殊な環境下での使用は、予測できない事故に繋がる場合がありますので設置しないでください。
  - 河原や河川付近に設置する際には、気象条件により突然増水することがあります。設置場所には特に注意してください。
  - 使用中は天候などの変化に注意し危険が予測される場合は使用を中止して速やかに撤収、安全な場所へ避難してください。
  - 出入口などが完全にしまった状態で使用すると酸欠になる場合があります。必ず定期的な換気を行ってください。
  - テント内やテント近くでは、絶対に火気を使用しないでください。火災や一酸化炭素中毒になる場合があります。またテント内の照明は電池式を使用してください。
- ⚠ 警告** (場合により人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です)
- (軽傷や物的損害が発生する頻度が高いことが想定される内容です)
- 取扱説明書の内容を遵守し、使用してください。
  - 風向きを考慮して、乾燥した平らな地面に設置してください。小石やテントを傷つけるような物は、あらかじめ取り除いてください。
  - 設置の際は手袋を着用し、手指などを挟んだりケガに注意して行ってください。無理な負荷は商品の破損の原因になりますので、ご注意ください。
  - テントの改造や分解は行わないでください。性能が損なわれ保護能力が発揮できなくなる場合があります。
  - フレームを湾曲させる時には力が掛かりますので、跳ね返りなどに、ご注意ください。
  - グラスファイバー部分は材料の特性上、表面にキズなどがついた状態で使用すると、手指に刺激を感じる場合がありますので、ご注意ください。
  - 使用の際は必ずペグで固定してください。その際は、ハンマーの扱いには、ご注意ください。
  - 小さなお子様は、フレームの組み立てやハンマーの扱いは、お避けください。
  - 設置後に本製品をわずかでも移動させる際や、テントから人が離れる際は、テントは一度撤収してください。
  - 無人状態では風や天候の変化によりテントの破損や事故、怪我につながる場合がありますので、ご注意ください。

- ⚠ 取扱上のご注意**
- お出かけや、ご使用になる前に一度設置の練習を行ってください。その際に、パーツなどの破損や劣化、不足が無いかを、ご確認ください。
  - 常設用テントではありませんので、テントに使用している素材は、使用頻度に関わらず気温、湿度、日光などの外部環境により徐々に自然劣化していきます。
  - 付属のペグは地面の状態（砂地や硬い地面など）によっては適応できない場合がありますので、ご注意ください。
  - テント内と外気の温度差などにより結露が生じる場合がありますので、ご注意ください。
  - 使用後は、速やかに水または薄めた中性洗剤で濡らせた布で汚れを落とし、しっかり乾燥させてから収納してください。湿った状態で保管すると、色落ちや色移り、製品の劣化に繋がりますので、ご注意ください。また、お子様の手の届かない場所で保管してください。
  - ドライクリーニングや洗濯機や乾燥機のご使用は、お避けください。
  - テント生地には、はっ水加工が施されています。使用状況により、はっ水性が低下する場合がありますので、ご注意ください。また防水加工は施されておりませんので、ご注意ください。
  - 収納袋は決められたテントだけを収納してください。違う物などを入れますと破損する場合がありますので、ご注意ください。また収納袋を頭から被らないようにしてください。
  - 落下や破損の恐れがありますので、天井ネットには重いものや貴重品を置かないようにしてください。

- ⚠ SGマーク制度について**
- SGマーク付き製品は安全性が高く、安心してお使いいただけるものですが、万が一、SGマーク付き製品の欠陥により事故が発生し、人身被害が生じたと認められる場合には事故原因、被害の程度などに応じて、賠償措置を実施いたします。
  - <賠償についての、ご注意>  
SGマーク被害者救済制度は、SGマーク付き製品の欠陥によって傷害などの身体的な損害（人的損害）について賠償する制度です。この制度は、SGマーク付き製品そのものが故障した場合に補償するものではなく、またSGマーク付き製品の欠陥によって他の物に生じた損害（物的損害）を賠償するものではありません。
  - <製品の欠陥によって事故が起きた場合>  
事故が起きたら、すぐに製品安全協会へ連絡してください。担当者が事故の詳細をお伺いし、受付いたします。受付後、製品安全協会から送付されてくる事故発生届などの書類と事故品を提出して頂きます。（原則として60日以内）

一般財団法人 製品安全協会  
〒110-0012 東京都台東区竜泉 2-20-2 ミサワホームズ三ノ輪2階 TEL: 03-5808-3303  
販売元 株式会社ワークマン  
〒372-0824 群馬県伊勢崎市柴町 1732 TEL: 0270-32-6111  
(受付時間: 平日 10:00~17:00 土日祝 / 休業)

MADE IN CHINA  
2022年9月製造

# 構造部品・内容明細

- 本体（インナーテント）1張・ポリエステルタフタ  
※フロアシートはポリエステルオックス（ポリウレタンコーティング）
- フライシート 1張・ポリエステルタフタ（ポリウレタンコーティング）
- 天井ネット 1枚・ポリエステル
- ロープ 6本・ポリプロピレン
- ペグ 13本・鉄・亜鉛
- メインポール 2本・グラスファイバー
- キャンピーポール 2本・グラスファイバー
- 収納袋 1枚・ポリエステル
- 取扱説明書（本書）1冊

## インナーテント 設置時



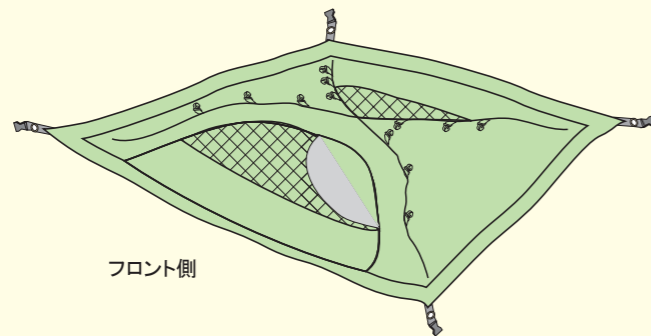
## フライシート 装着時 [フロント側]



# 設営手順

## ① インナーテントを広げる

手順1. フックのついている面を上にしてインナーテントを広げます。入り口のある方がフロント側になります。



## ② 本体を立ち上げる

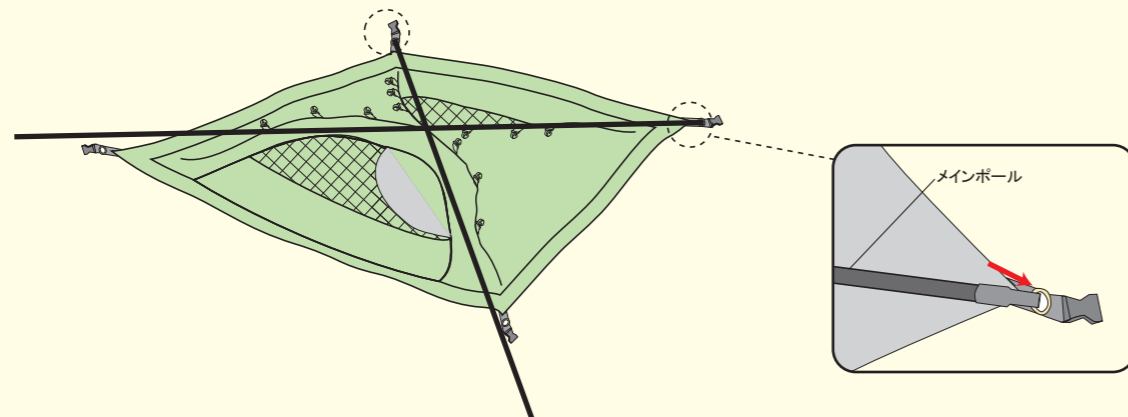
手順2. メインポール(ブラック)2本を伸ばします。



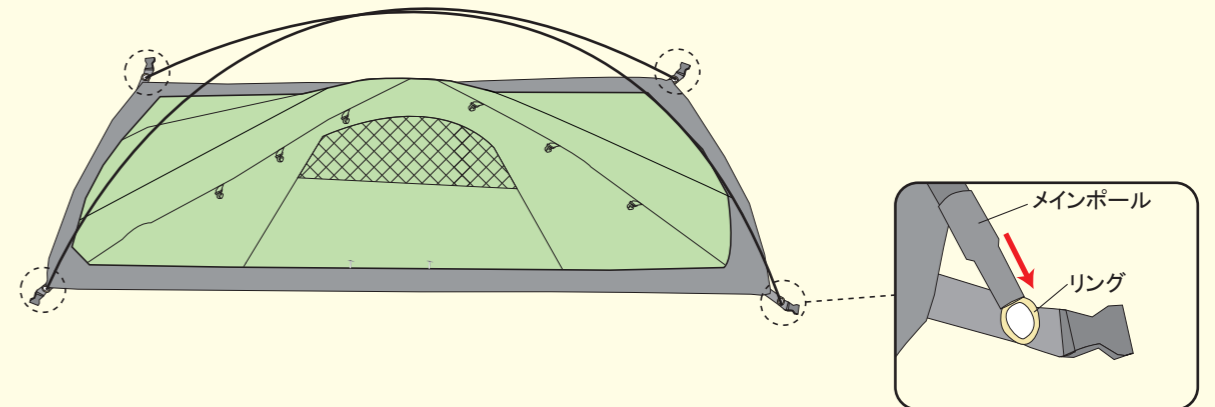
**注意**

ポールを伸ばす際には、各節を完全に差し込んでください。不十分な場合、ポールが折れる可能性があります。

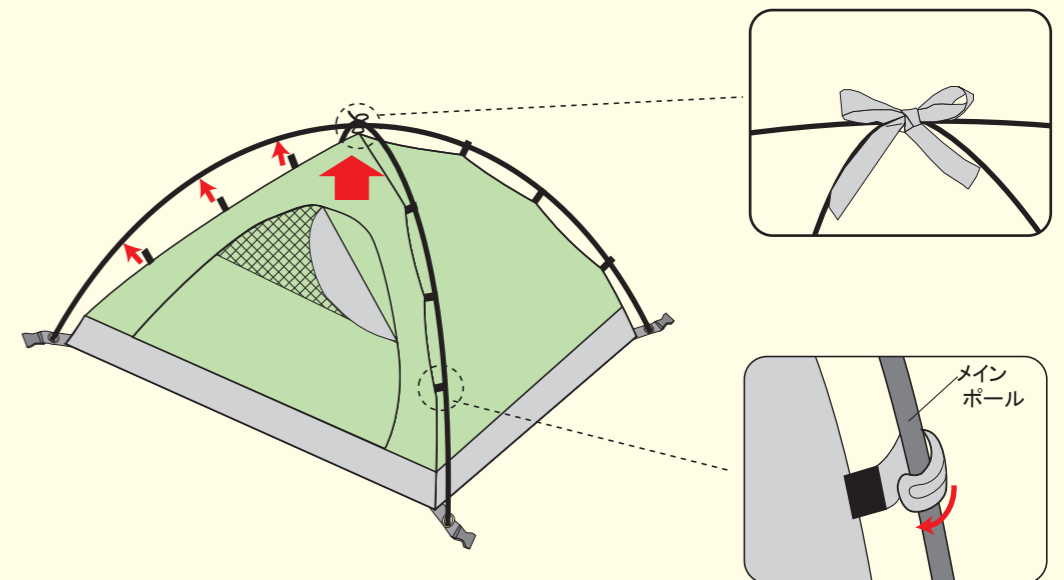
手順3. メインポールの端をインナーテントのバック側のコーナーにあるリングに差し込みます。2本が交差するように対角線のリングに差し込みます。



手順4. 手順3と同様にフロント側のコーナーのリングにメインポールを差し込みます。



手順5. 立ち上がったら、インナーテントについているフックをメインポールにかけ固定します。インナーテント中央部の紐は、メインポールが交差している部分に結びます。このとき交差部分がテントの中央に来るようにします。



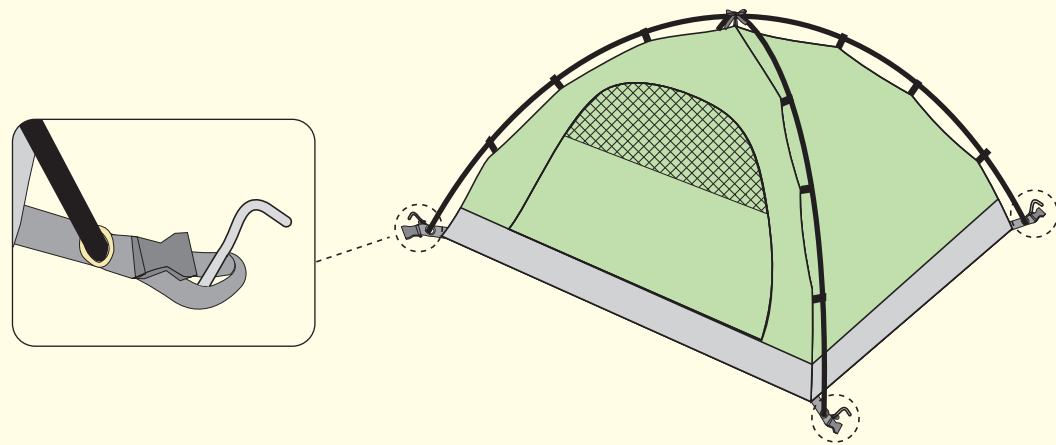
**注意**

フックをポールにかける際、指などははさまないように注意してください。

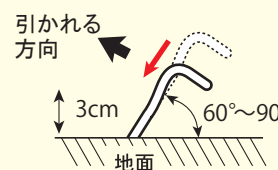
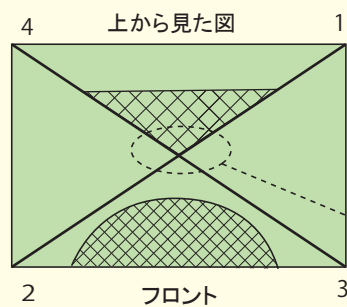
### ③設営位置を決め固定する

手順6. 入り口ファスナーを全て閉めます。

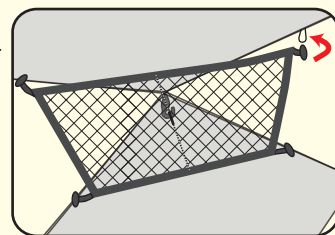
**注意** ファスナーを開けたまま設営すると、ペグで固定した時にドアが閉まらなくなることがあります。



設営位置を決め、図のように4ヶ所のループを風上より順に(1~4)対角線にペグを打ち込み、テントを固定します。



ペグは引かれる方向の反対側へ60°~90°の角度に打ち込むと風に対して強く設営できます。

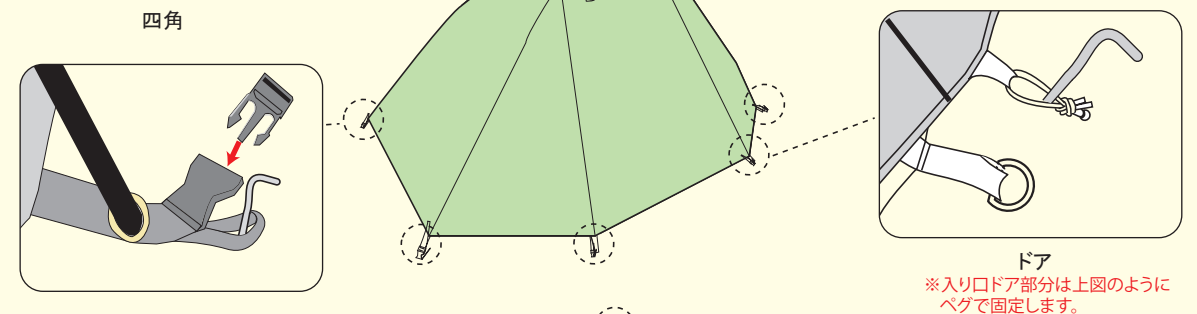


天井ネットのボタンを天井に付けたループにかけます。

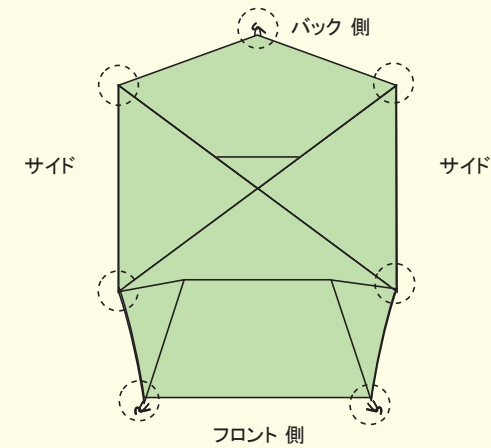
**注意** フロアにシワがなくなるように、ループを少し引っ張りながらペグで固定してください。

### ④フライシートをかぶせる

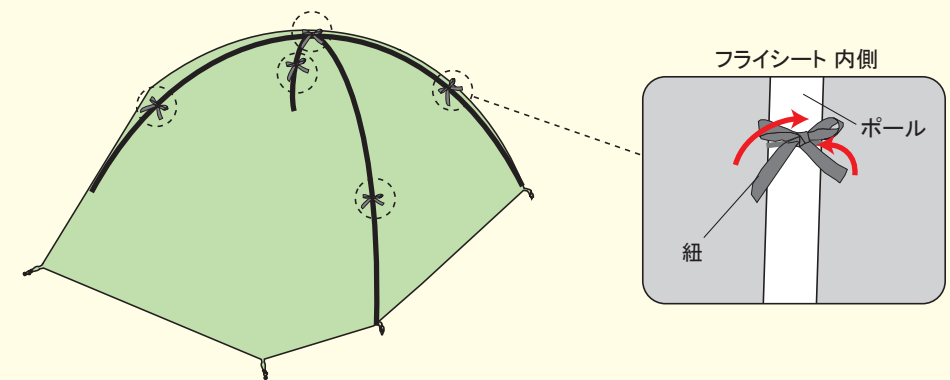
手順7. フライシートをかぶせます。この時に、全てのポールはフライシートの内側になります。フライシートの端についているアタッチメントオスを、インナーテントコーナーメスに挿してください。



※入り口ドア部分は上図のようにペグで固定します。

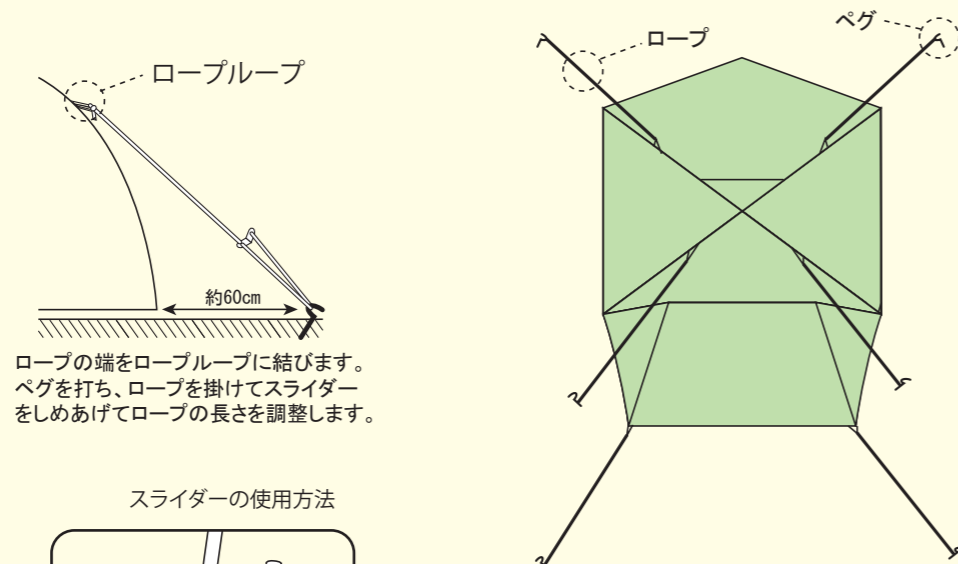


※アタッチメントを接続する前にフライシート内側にある紐を、それぞれのポールに結びます。



## ⑤ロープを張り固定する

手順8. ロープループに付属のロープを結び、ペグで固定します。



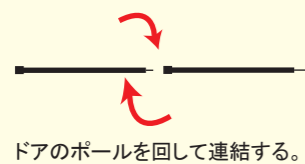
ロープの端をロープループに結びます。ペグを打ち、ロープを掛けてスライダーをしめあげてロープの長さを調整します。

スライダーの使用方法

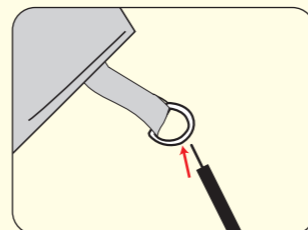


6ヶ所にロープをセットし、テント本体から60cm～1m程離れた位置にペグ打ちして固定します。スライダーをしめあげて、ポールが安定する位置で固定して下さい。

入り口キャンピーを開いてキャンピーポール用のD環にポールの先端を挿し込みキャンピーを立ち上げて手順8同様にロープで固定します。  
※入り口を完全に閉じる場合はキャンピーポールとロープを取り外して下さい。



キャンピー用D環

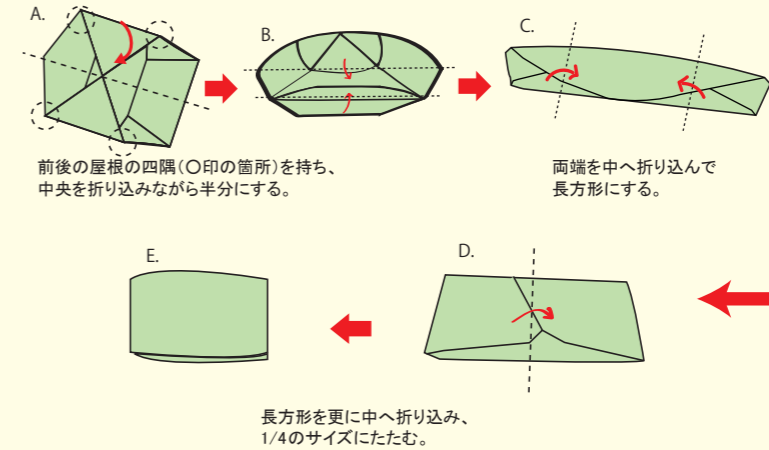


## 収納手順

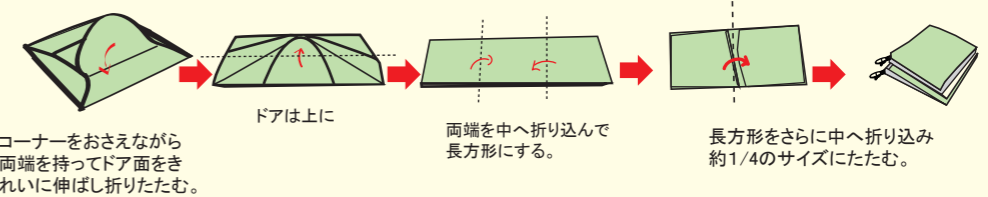
手順1. フライシートを固定したロープ、ペグ、アタッチメント、天井ネットフライシートとメインポールを結んだ紐、すべて外してインナーテントからフライシートを完全に取り外したたみます。

**注意**

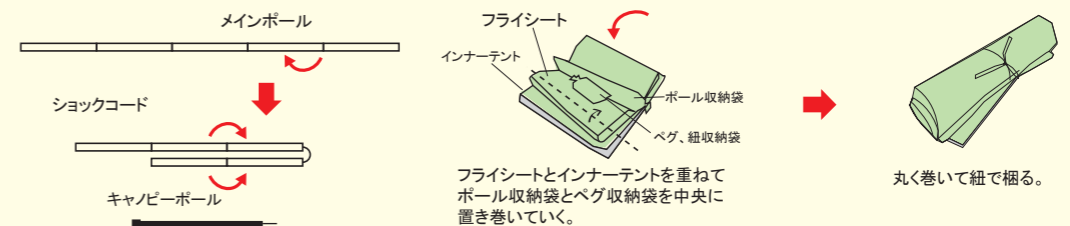
生地を濡れたまま収納すると、防水効果が著しく損なわれ、色移りやカビ発生の原因となる為、汚れをよく落とし、十分乾かしてから、収納・保管してください。



手順2. インナーテントのポールを全て取り外し四隅をきれいに広げ四角形になった状態でたたみます。

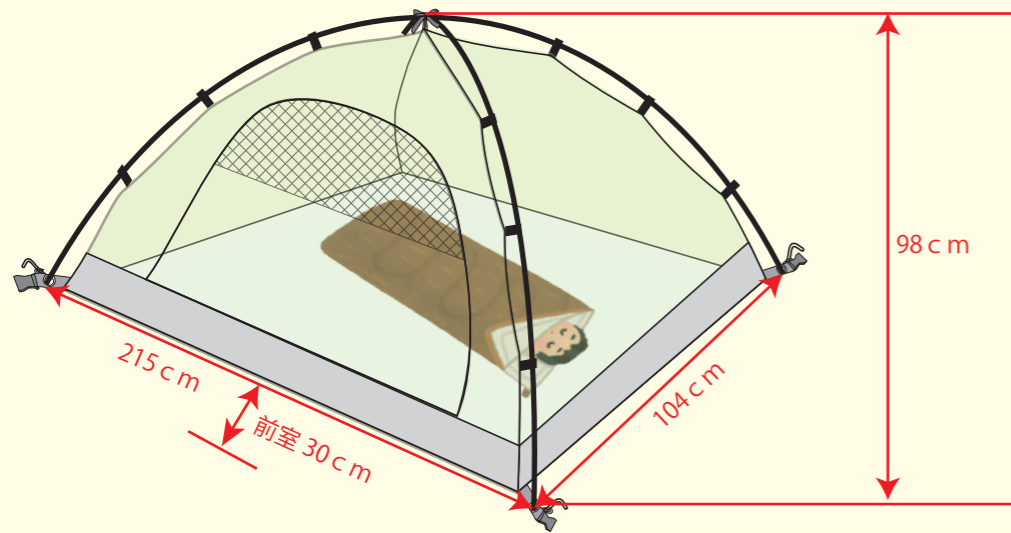


手順3. ポールを全ておとりたたみ、ポールケースに収納しフライシートとインナーテントと一緒に丸めて紐で縛り収納袋に入れます。

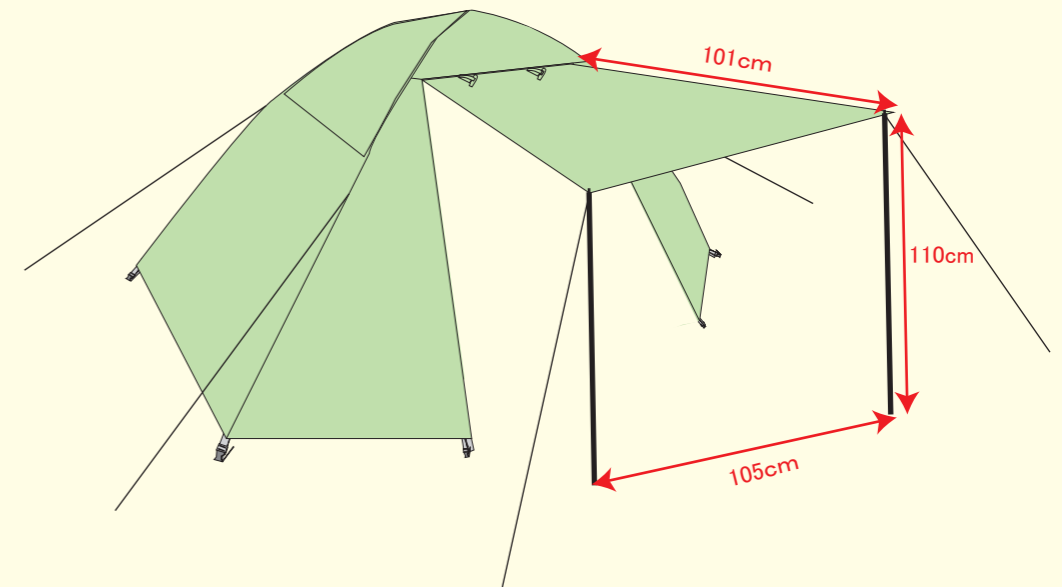
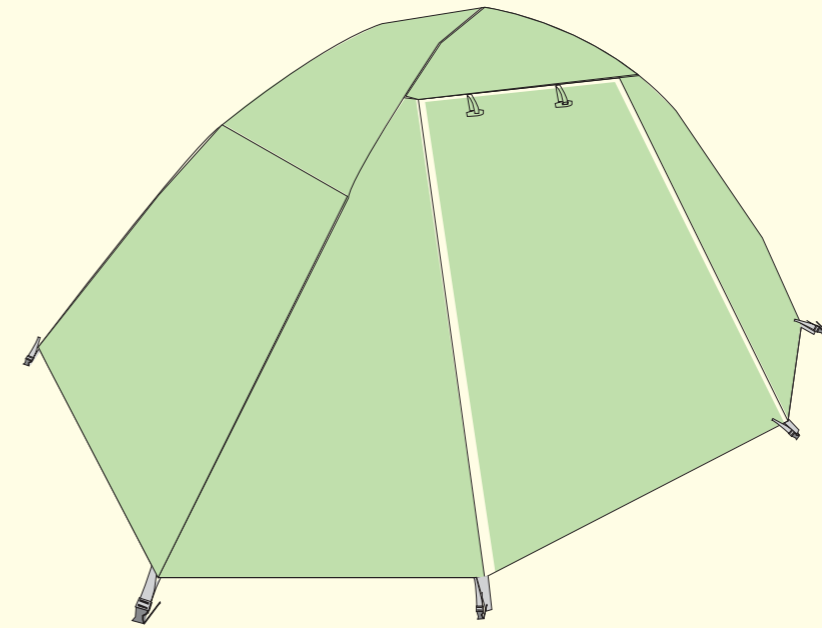
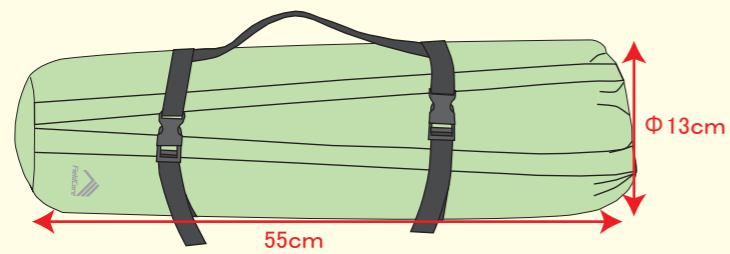


# FTE01 BASICドームテント

展開サイズ:長さ215cm、幅104cm+30cm、高さ98cm



収納サイズ:Φ13cm、長さ55cm  
重さ:約2.6kg



△フライシートとインナーテントが接触すると漏水の原因となる恐れがありますので付属のロープを必ず設置してご使用下さい。